

# 畜産みやぎ

題字 宮城県知事 本間俊太郎

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部62円

印刷所 KK東北プリント

## 宮城県優良畜産経営技術発表会



平成3年度宮城県優良畜産経営技術発表会 (県農協ビル: 3月19日)

### もくじ

平成4年度当初予算の概要……………	2
系統豚「ミヤギノ」の 普及への取組みについて……………	5
平成3年度終了の和牛産肉能力間接検定成績……………	6
牛の乳頭糞線虫症について……………	7
随想……………	7
人の動き……………	8

### 平成4年度当初予算の概要

#### 宮城県畜産課

平成4年度の当初予算は、平成4年3月3日に招集された定例県議会議に提案され、3月23日の本会議で可決されました。

畜産課予算につきましては、牛肉の輸入自由化後の影響に留意しながら、引続き輸入自由化関連対策を始め高生産・低コスト対策事業を推進するため、対前年当初予算比101.79%の予算を計上しております。

以下、平成4年度の新規事業など特色のある事業を紹介いたします。

#### 1. 伊達な和牛の郷づくり事業

牛肉の輸入自由化がスタートし、平成5年度税率50%まで年々引き下げが実施され、肉用牛の生産環境は厳しい状況にあります。本県の肉用牛は、全国的にも主産地であり、農業振興の柱となっており、消費が伸びていることから生産拡大が期待されています。

これまで「みやぎ和牛の郷づくり」運動に取り組み牛飼いの定着等一定の成果がありましたが、今回牛肉輸入自由化による海外競争と、ますます厳しくなる国内産地間競争に打ち勝つために、地域の特長を生かしてレベルアップを図ることを目的とした、「伊達な和牛の郷づくり」事業により肉用牛振興運動を展開することとしたものです。

- (1) 事業主体 県、市町村和牛の郷づくり推進協議会
- (2) 事業年度 平成4年度～8年度
- (3) 4年度予算 7,300千円
- (4) 現在の肉用牛振興上の課題と対策

課 題	対 応 策
-----	-------

生産者の意識改革と経営体質の強化…企業者マインドを持った農家の育成や婦人、…(人づくり)お年寄等の活用による経営者の育成

牛づくりを通じた農村の機能の強化…都市と農村の交流の積極的推進による魅力…(里づくり)ある地域づくりと地域文化の造成

消費者に喜ばれる牛肉づくり……産地間競争の激化に対応する商品性の高い…(牛づくり)牛の増産

科 目	予算額 (千円)
1 畜産総務費	580,925
2 畜産振興費	2,044,338
1. 家畜改良増殖事業費	140,346
2. 家畜改良対策事業費	7,081
3. 家畜導入事業費	57,291
4. 畜産高度技術実用化促進事業費	25,575
5. 肉用牛振興対策事業費	600
6. 畜産物流通対策事業費	16,757
7. 地域畜産振興事業費	76,677
8. 畜産経営環境整備事業費	327,057
9. 畜産経営環境保全対策事業費	114,185
10. 畜産団体等育成強化費	122,170
11. 公共育成牧場対策費	109,455
12. 草地開発事業費	863,389
13. 自給飼料生産事業費	11,810
14. 流通飼料対策事業費	1,989
15. 学校給食用牛乳供給事業費	140,939
16. 生乳流通対策事業費	5,940
17. 酪農経営体質強化対策事業費	1,000
18. 畜産総合対策推進指導事業費	7,895
19. 伊達な和牛の郷づくり事業費	14,182
3 家畜保健衛生費	178,501
1. 家畜伝染病予防事業費	57,454
2. 家畜保健衛生対策事業費	17,624
3. 家畜衛生技術指導事業費	20,711
4. 自衛防疫推進事業費	82,712
合 計	2,803,764

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

**東北獣医薬品株式会社**

TEL (225) 73330・73338・73339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8  
022 (225) 7338~9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28  
0229 (34) 2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1  
0220 (22) 2278

**WORLD** 世界の  
**サンシャイン**



株式会社 **五十嵐商会**

仙台市若林区卸町五丁目1番地4  
電話 (022) 236-2525 (代表)

(5) 事業の取り組み

各市町村の肉用牛振興の課題を整理し、「人」,  
「里」,「牛」の3つの視点から地域が必要とする  
振興策を、年次計画に基づいて総合的に展開する  
もの。

(6) 事業内容

イ. 国際化に対応し得る「人づくり」の推進

企業マインドをもった担い手の育成を図る事業  
牛飼いプロの育成：牛飼いプロ、カウ・レディ  
育成事業

夢と生きがい対策：体験スクール、シルバー・  
グレートピア、牛飼いヘ  
ルパー事業

ロ. 文化の香り高い「里づくり」の推進

ゆとり、ふれあい、活力のある地域文化の創造  
を図る事業

都市と農村の絆づくり：農村文化交流、里の  
風推進、牛飼いまろんの  
里づくり事業

農村アメニティづくり：畜産アメニティ対策、  
畜産ゾーン整備事業

ハ. 商品性の高い「牛づくり」の推進

輸入自由化、産地間競争に打ち勝つ高品質牛の  
生産を図る事業

地域ぐるみの品質向上対策：肉質向上キャン  
ペーン、繁殖牛グレード・  
アップ、ET技術普及事  
業

低コスト生産推進活動：一貫生産促進、規模  
拡大促進事業

2. 岩出山牧場再編整備事業

岩出山牧場は、これまで、基幹種雄牛の候補牛選抜  
事業、優良子牛の生産払下事業及び乳用牛の預託育成  
事業を行ってきました。この結果、本県は優良肉用牛  
の生産県として全国的地位の向上が図られました。牛  
肉輸入自由化後の国内の産地間競争に勝ち残るためこ  
れまでの雄牛中心の改良に、育種価を考慮した牝牛か

らの改良を加えた効率的生産方法の確立と普及が急務  
となっております。また、これに合わせ畜産試験場の  
分場の役割を持つ、岩出山牧場の機能強化を図るため  
事業見直しと老朽化した施設設備の整備を行います。

(1) 事業色体 県

(2) 4年度予算 5,7000千円

(3) 事業内容

イ. 「育種価推定システム確立事業」の実施平成  
4年～

ロ. 検定牛舎(50頭用)の新設、平成4年(設計)  
～5年度(建設)育種価推定システム確立事業  
に必要な検定牛舎

ハ. 草地関係の整備平成4～7年度10haの草地  
改良、サイロの新設等(自給飼料の安定的維持  
向上のため、計画的整備)

3. 仙台牛銘柄確定推進対策事業

牛肉の輸入自由化がされ、国内においても産地間競  
争が激化しており、高級牛肉「仙台牛」の銘柄の確立  
が緊要の課題となっています。このため「仙台牛」の  
流通、販売ルートの開拓、特に首都圏での活動を強化  
するとともに、「仙台牛」の消費拡大を図ります。

(1) 事業主体 仙台牛銘柄確立推進協議会

(2) 事業計画年度 昭和53年度～

(3) 3年度予算 8,500千円

(4) 3年度事業内容

イ. 仙台牛販売店、提供店の育成強化

仙台牛の販売対策を強化し、消費者への浸透  
を図るため、優良販売店の指定、レストラン等  
の指定とその育成強化に努める。

ロ. 県内消費拡大対策(イベントの開催)

七夕前夜祭、青葉まつりへの参加

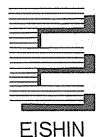
食肉三水会等とのタイアップにより、仙台牛  
のPRを行う。

ハ. 観光地での販売促進活動

観光地において仙台牛の販売拡大を行う。

(宅配システムの利用)

ニ. アンテナショップ活動



クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

EISHIN

取締役社長 山田 修造

本 社 (畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3

☎(022)284-8111 F A X (022)284-8127

古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

**小田島商事株式会社**

本 社 岩手県花巻市卸町66番地

TEL 0198 264151(代)

古川 営業所 古川市清水字周防10-1

TEL 0229-26-4567

花巻 営業所 水沢 営業所 青森 営業所

盛岡 営業所 大館 営業所 八戸 営業所

大船渡 営業所 横手 営業所 山形 営業所

酒田 営業所 福島 営業所

アンテナショップにおいて、フェアの開催や広告を行う。

ホ. 贈答品ルート確立対策

「仙台牛贈答品ルートの確立のため、高級デパートでの販売及びリビング紙を利用したカタログ販売を行う。

ヘ. 一般公報活動

4. 広域畜産環境整備緊急対策事業

大規模畜産経営や濃密飼養が行われている桃生町において、家畜排せつ物による悪臭、水質汚濁等の畜産環境問題を解消するため地域ぐるみで環境衛生対策に取り組むものです。

- (1) 事業主体 桃生町
- (2) 事業年度 平成4年度
- (3) 4年度事業費 164,666千円
- (4) 事業採択基準  
 地域飼養頭数 肥育豚換算 7,000頭以上  
 参加農家飼養頭数 " 3,500頭 "
- (5) 補助率  
 国½ 県施設13.5%以内 機械9%以内

受 益		事 業 内 容		事業量
戸 数	地目別 面積 頭羽数	工種・施設 区分等	構 造 規 格 能 力 等	
戸 39	頭	強制発酵処理施設 (場内整備 管理棟 機械格納庫 水分調整舎 製品貯蔵庫 堆肥運搬車 自走ローダ 自走マニユア バキュームカー 袋詰機械	917.3㎡ 5,000㎡ 39.7㎡ 62.4㎡ 102.1㎡ 204.2㎡ 2 t 1 ㎡ 1 t 1,800ℓ	1 棟 1 棟 1 棟 1 棟 1 棟 1 台 1 台 2 台 2 台 1 台
酪農 2 肉用牛14 養豚 23	乳牛 51 肉牛 812 豚 6,493 肥育豚換 10,808			

5. 公社営畜産基地建設事業

今後とも畜産主産地として安定的な発展が見込まれる地域において、飼料基盤及び農業用施設等の整備を行うことにより、中核的な畜産農家を育成し、もって新たな畜産主産地を形成する公社営畜産基地建設事業を現在次の地区で行っております。

平成4年度は上記地区に調査地区として、大河原地区(実施市長：白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・村田町・川崎町・丸森町)が加わることになりました。この地区は、畜産を中心に米、野菜等を多角的に取り入れた多彩な複合経営を行っており、畜産は地域の農業振興上重要な柱となっております。しかしその規模は零細かつ飼料基盤が脆弱なため、不安定な経営体が多く、このような現状を早急に改善するため、今回4年度に計画を策定し、平成5年度から3年間で建設事業を実施します。

地区	実 施 町 村	事業実施期間	総事業費	うち4年度事業費
栗原	築館町 栗駒町 一迫町 金成町 鶯沢町 花山村	63～4	1,958,100	381,439
登米	迫 町 登米町 中田町 米山町 東和町 豊里町 石越町 南方町	元～5	1,743,000	338,344
大崎北部	古川市 中新田町 岩出山町 鳴子町	2～5	2,225,000	417,970
合計	1市 16町 1村	-	5,926,100	1,137,753

事業内容	年 度		全体	4	補助率
	草	道			
事業内容	草地等造成整備改良	778.68ha	111.52ha	国 50% 県 20%	
	道路整備改良	2417m	14,240m	国 50% 県 15%	
	畜舎整備	198棟	41棟	国 50% 県 10%	
	農機具	648台	100台		

区 分	事 業 種 目	4年度事業費
地域概況調査	地域の概況, 地区の現況	10,300
事業計画	経営計画, 基本施設計画 事業費負担計画, 事業効果	

(畜政係)

**STAR** スター農業機械

**マニユアスプレッタ**

倍角ステアリングで  
ラクラク作業



TBM1550+A DW1800  
(倍角ステアリングボディ) (ディスフビータ)

**スター農機株式会社** 仙台営業所  
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

**ORION**  
ともに前進 技術のオリオン

**酪農家の**

声を反映した製品づくりと安心の  
おけるアフターサービスは  
オリオングループの誇りです。

**東北オリオン株式会社**

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691  
 宮城営業所 古川市福浦字道のの上106番1号 ☎989-61  
 T E L 古川(0229)23-1631

# 系統豚「ミヤギノ」の普及への取組みについて

宮城県経済連

平成3年度における、系統豚「ミヤギノ」の普及は、宮城県系統豚利用推進協議会（平成3年7月18日開催）において、利用拠点の確立を基本に考え、(1)LWD一貫生産農家（地域内一貫を含む）で構成されていること。(2)農協の指導体制が確立されていること。(3)データ収集ができる中核農家が構成員であること。(4)銘柄確立のためのユニットであること、などの要件を満たした17地域生産組織が認定され、初年度として8組織から普及することが決定された。

系統豚「ミヤギノ」は、宮城県畜産試験場、経済連ミヤギノGGPセンターにおいて維持され、増殖についてはGGPセンター及び米山町の千葉増殖農場において行われている。平成3年8月31日から、F<sub>1</sub>母豚生産施設への供給を開始し、平成4年3月末で8生産組織、15F<sub>1</sub>母豚生産施設へ170頭を配布予定にしている。

大ヨークシャー種、系統豚「ゼンノーW-01」と、デュロック種「サクラ201」は、同じくミヤギノGGPセンターで増殖され、「ミヤギノ」雌10頭に対し、「ゼンノーW-01」雄2頭を原則的なセットとして配布を実施している。また、平成5年度において、「サクラ201」の供給不足が予想されるため、平成4年度において、民間増殖施設を認定し、生産基盤を整備する予定である。

本年2月から、系統豚「ミヤギノ」と「ゼンノーW-01」を交配したLWが分娩を開始しており、5年2月にはこのLW母豚に「サクラ201」を交配した「LWD」が分娩を開始し、8月には最初の肉豚としての出荷を迎える状況である。

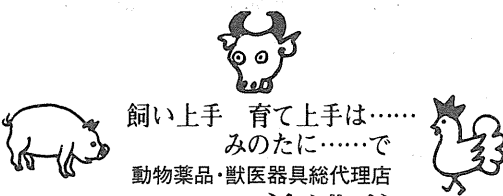
5年度中に出荷されるLWDは、概ね4,500頭と考えられるが、6年度にはLWD出荷が37,000頭、8年度には、180,000頭を目標にして普及を進める考えである。

現在、全国で33の系統豚（L・17、W・9、H・2、D・3、B・2）が維持され、24の系統が造成中である。3年度において、系統豚を主体とした銘柄数は全国で30銘柄、531,700頭と言われ、7年には39銘柄、1,887,000頭と予想されている。日本種豚登録協会の推定によると、肉豚の中で系統豚利用によるものの比率は、13%強と言われ、銘柄豚という形で販売ルートにのっているものは、未だにその1/5ぐらいだとされている。

本会では、系統豚「ミヤギノ」の普及基本方針として“産地間競争に勝ち残れる宮城の養豚を再構築するため、系統豚「ミヤギノ」の普及にあたっては、系統豚の造成主旨にもとづき、系統豚の能力を最大限に発揮させるため、効率的な利用方策と早期モデル実証展示などの啓蒙により、農協を中核とした組織の普及をおこない、市場性の高い銘柄豚『ミヤギノポーク』づくりを推進する。としており、5年度までの普及具体策として、①種豚生産体制の確立、②利用拠点の確立の重点目標を設定し普及している。系統豚普及を成功させるためには、地域生産組織における系統豚利用効果の実証と、銘柄豚づくりへの組織としての執念が不可欠である。また、F<sub>1</sub>母豚生産農家と利用農家においては、系統豚の売買だけでなく強い信頼関係がないと長期的、安定的種豚供給は不可能である。種豚生産農家、利用中核農家には、3年度よりファクシミリを設置し、系統豚繁殖成績、生産供給計画、肉豚格付、格落要因などをフィードバックするシステムを稼働させ、今後定期検討会を実施したいと考えている。

最後に、前述の全国の系統豚、銘柄豚に対しこれから戦々布告をし、銘柄豚『ミヤギノポーク』の評価を高めるために、まず地固め、地域生産組織整備、強化に系統農協の総力をあげて取り組む必要がある。

（畜産総合推進課 大友良彦）



飼い上手 育て上手は……  
 あなたの……で  
 動物薬品・獣医器具総代理店  
**株式会社 美濃谷**

本店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL683121
山形店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL683121
仙台店	仙台市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL2654306
鶴岡店	鶴岡市大字布目字東通り57-1	TEL240963

ビフィズス菌は  
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
**活きたまま腸までとどきます。**

**ビヒダス®**  
フルースト  
**ヨーグルト 500ml**

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号  
 ☎ (022) 384-5181

< 畜試便り >

平成3年度終了の和牛産肉能力間接検定成績

宮城県では昭和55年から和牛産肉能力間接検定が実施され、今回第10回の検定が終了しました。本検定を通じてこれまでに秋重、奥茂などの特色のある優れた種雄牛が選抜されてきており、これらは基幹種雄牛として畜産試験場において繋養され、本県肉用牛改良の主力を担っています。

この検定は直接検定（本牛の育成時期の発育と飼料利用性の検定）で選抜された種雄牛候補牛を父に持つ去勢子牛を宮城県岩出山牧場で364日間肥育し、肉量、肉質、増体、飼料利用性を調査して遺伝的産肉能力を検定するものです。今回検定した種雄牛は表1に示す岩谷、茂勝、岩盛の3頭です。

表2に検定結果の概要と昭和63年度から平成2年度前半までに全国で行われた検定結果の平均値を示しました。全国平均と第10回の検定成績を比較しますと、本県の成績は、発育の良否を示す項目では下回るものの、肉質の項目では全国平均を上回っています。体積は不十分であるが、資質は全国でもトップクラスという本県和牛の特徴がこの検定成績にも現れています。

次に個々の検定種雄牛の特徴を検定成績と血統からまとめてみます。

岩谷は父が岩波、母方祖父が茂重波であり、兵庫系の血液割合が75%と高く、脂肪交雑に優れた資質を受け継ぐことの期待される血統ですが、BMS2.5と本県の中では特段の成績ではありませんでした。

茂勝は父および母方祖父が茂重波であり、その近交係数は31.6%と非常に高い値を示しています。検定の結果DGは0.82とややもの足りませんが、BMS3.1と脂肪交雑に優れた成績を残しました。

岩盛は父が波茂、母方祖父が第4竹安の2で広島系の血液割合が75%と高く、発育の面で期待されたのですが、DG0.82とやや小さい値となりました。

このような結果から、平成4年3月に開催された宮城県和牛改良委員会では本年度の検定済み種雄牛として茂勝を選定しました。発育の早さでは全国の間検の平均値を下回るものの、肉質に優れた種雄牛としての活躍が期待されます。しかし、父に茂重波を持つ雌牛に茂勝を交配して得られる産子の近交係数は、最低でも23.5%と考えられるため、その交配に際して十分注意する必要があります。

(酪農肉牛部肉牛科 鈴木英作)

表1 検定種雄牛の概要

種雄牛 名号	生年月日	血 父	統 母方祖父	産地	直検DG
岩谷	62. 8. 11	岩波	茂重波	玉造郡鳴子町	1.40
茂勝	62. 11. 6	茂重波	茂重波	栗原郡一迫町	1.28
岩盛	62. 11. 1	波茂	第4竹安2	遠田郡涌谷町	1.23

表2 第10回和牛産肉能力間接検定成績

種雄牛 名号	頭数	終了体重 kg	DG kg	ロース 芯面積 cm <sup>2</sup>	推定保留 %	脂肪交雑 BMS	筋間脂肪 cm
岩谷	10	557.5	0.78	47	74.1	2.5	5.0
茂勝	10	571.2	0.82	51	74.1	3.1	5.4
岩盛	10	556.6	0.82	48	74.0	2.3	5.8
全国平均			0.88	45.4		2.1	

1) 昭和63年～平成2年度前半終了277セット (全和登)

## 衛生便り

## 牛の乳頭糞線虫症について

乳頭糞線虫症は1978年に鹿児島県で初めて発生した疾病で、健康な子牛が前駆症状なしに突然奇声を発して倒れ数分以内に死亡するため「ポックリ病」と呼ばれ、多方面から原因が調査されたものの解決されませんでした。1984年以降、発生農家の牛に乳頭糞線虫の濃厚汚染が認められ、その後、実験感染により「ポックリ病」が再現されたことから「突然死型乳頭糞線虫症」という新しい疾病として定着しつつあります。

この病気はオガクズを敷料とした肉用雄子牛肥育農場に多く、ひとたび発症すると発生牛房を中心とした子牛に1～7日の間隔で突然死が続発します。最も発生が多く見られるのは7～10月で、群飼を開始してから1～3カ月を経過した1～6カ月齢の子牛に多発します。蹄冠部を舐めたり噛んだりする一過性の痒覚症状や蹄冠部における発赤や痂皮がみられることもありますが、突然死例では蹄冠部を含め全身の臓器に死に結びつくような病変は認められません。確実な診断法は糞便検査であり、糞便1g中の虫卵数が1万以上に達すると要注意で、5万以上から突然死が起こるといわれています。糞便虫の虫卵から孵化した子虫は数日で感染能力を有する子虫となり皮膚から牛の体に侵入しますが、オガクズは子虫の発育に好都合な環境となります。

予防方法としては、乳頭糞線虫の増殖時期が6～10月ですのでこの時期のオガクズの定期的な交換（7～10日間隔）や交換時における殺虫剤散布などが有効です。また、駆虫薬としてはイベルメクチン製剤やサイアベンダゾール製剤が有効です。

東北、北海道では本病の発生は報告されていませんが、九州から関東甲信越の広い地域で発生みられており、温暖化の進む中で東北地方での発生も懸念されています。（仙台家畜保健衛生所 伊藤 敦）

## 随想

## 環境保全

最近新聞テレビでは勿論、環境問題が大きな関心事として取り上げられ、特に自然環境を大切に守ろうと強調している。

農業は自然の生態系の中で、土や水そして日光という自然エネルギーを生産に活用しながら、地球の自然環境を守っていると自負してきた。

しかし一部効率的に生産をあげるための手段として、肥料農薬資材面で化学製品にたより過ぎ、生態系等を壊れていると指摘され、見直し論が出されその対応に苦慮しているのも事実である。

昭和48年8月畜産の生産環境の改善整備のため、県に畜産環境整備係が創設された。

係として当初は、生産サイドに立って規制基準はゆるやかなものに、取締りは程々という気持ちで接したこともあったが、業務として畜産施設の集約団地化・ふん尿処理施設・堆肥の活用・更に生産基盤を確立することにあつたのだが、施設機械を作れば事足りりとして、肝腎の飼料畑草地確保等の生産基盤づくりの面では充分とは言えなかった。

—昨年デンマーク昨年ドイツの畜産農家を訪問したが、どこでも如何に安全なものを生産するかに気を配り、飼料の自給はもちろん、自家堆肥の活用、農薬化学肥料の使用を極力控え、広々とした農業地帯にあり乍も、環境を汚染しないよう心掛けて経営していると強調しており、対応や考え方に大いに感心した。

畜産物は益々重要食料と位置づけられるが、経営面でも施設の整備のみならず、生産基盤を十分に確保整備して、畜産農業農村が単なる生産の場だけで無く、よい環境が保全され、いこいの地域ともなり、幅広い役割を担っていくことができるようになってほしい。

（宮城県肉用牛価格安定基金協会専務理事 芳賀文蔵）

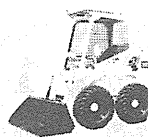
発育促進・食欲増進・栄養補給に

**バイミルク**

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全業工業株式会社

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。  
畜産農家の近代化に  
作業の省力化に大きく貢献します。  
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社

東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1  
電話 022-259-6351

人の動き

宮城県

退職(3月31日付け)古川家畜保健衛生所次長

- " ( " ) 畜産試験場酪農肉牛部主任研究員
- " ( " ) 畜産試験場
- " ( " ) 畜産試験場

- 鹿野田 功
- 佐藤 国雄
- 千葉 さつき
- 笠原 勇

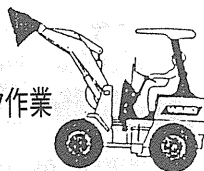
4月1日付け

新	旧	氏名
農政部次長(技術担当)	農政部技術参事兼畜産課長	粕谷 光
畜産課長	仙台家畜保健衛生所所長	佐々木敬功
畜産課技術補佐(家畜改良・衛生担当)	仙台家畜保健衛生所次長	大村 信
畜産課技術補佐	大河原農林事務所技術次長	大野 興一
畜産課長補佐	総務部行政管理室長補佐	長井 忠義
畜産課技術主幹兼衛生係長	仙台家畜保健衛生所技術主幹兼病性鑑定課長	田中 廣
" " 家畜改良係長	畜産試験場酪農肉牛部受精卵研究科長兼農業実践 大学校	石川 勇志
" 草地環境整備係長	古川家畜保健衛生所指導課長	谷津 芳勝
" 畜政係長	議会事務局総務課經理係長	志賀 政博
" 畜産経営係長	畜産課畜産流通係長	佐々木秀夫
" 畜産流通係長	農業実践大学校畜産学部教務主任	菊地 良雄
" 技術主査	迫家畜保健衛生所技師	津場 俊行
" 主査	出納局管理課主査	小山 幸子
" 技師	築館家畜保健衛生所技師	曽根 文浩
" 技師	石巻家畜保健衛生所技師	武田 正寛
" 技師	大河原農業改良普及所技師	齊藤 弘之
大河原家畜保健衛生所次長	迫家畜保健衛生所次長	佐藤 新六
" " 技師	畜産試験場技師	大久 範幸
" " 技師	畜産課技師	高橋 智子
仙台家畜保健衛生所所長	古川家畜保健衛生所所長	佐藤 裕一
" " 次長	大河原家畜保健衛生所次長	横山 孝夫
" " 技術主幹兼病性鑑 定課長	畜産課技術主幹兼家畜改良係長	松本 忠
仙台家畜保健衛生所技術主査	大河原家畜保健衛生所技術主査	松田 悦子
" " 主事(事務補主任)	仙台地方農事所出納部	福田 英子
仙台家畜保健衛生所技師	白石農業改良普及所技師	阿部 清明
" " 技師	畜産試験場技師	西 清志
古川家畜保健衛生所所長	迫家畜保健衛生所所長	佐藤 信嘉
" " 次長	築館家畜保健衛生所次長	佐藤 武夫
" " 指導課長	仙台家畜保健衛生所技術主査	三浦 正行
" " 技師	" " 技師	石澤 勝嘉
" " 技師	仙南食肉衛生検査所	岡崎 紀之
築館家畜保健衛生所所長	畜産課技術副参事兼技術補佐(家畜改良・衛生担 当)	谷津 邦郎
" " 次長兼指導課長	畜産課技術主幹兼草地環境整備係長	只野 征邦
" " 技術主幹兼防疫課 長	築館家畜保健衛生所防疫課長	佐々木和夫
築館家畜保健衛生所技術主査	畜産課技術主査	織江 貞二
" " 技師	新採用	大越 啓司
迫家畜保健衛生所所長	築館家畜保健衛生所所長	佐々木良悦
" " 次長	石巻家畜保健衛生所次長兼防疫課長	大橋 義信
" " 技師	築館農業改良普及所	佐々木吉一
" " 技師	新採用	目黒 忍
石巻家畜保健衛生所次長兼防疫課長	畜産課技術主幹兼衛生係長	高橋 勝一
" " 技師	築館家畜保健衛生所技師	加藤 伸悦

KOMATSU

カンタン操作で、

飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30  
電話(022)(237)7441番代

飼料は まるきた印

採卵鶏用配合飼料  
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料  
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL 石巻 0225 (22) 6111  
FAX 石巻 0225 (22) 6116



新	旧	氏名
石巻家畜保健衛生所技師 畜産試験場長	古川家畜保健衛生所技師 畜産試験場長兼酪農肉牛部長	鈴木 秀彦 高橋 功
“ 次長兼総務課長	築館土地改良事務所次長	佐藤 昌義
“ 酪農肉牛部長	農政課技術副参事(研究管理担当)	佐々木英夫
畜産試験場草地飼料部主任研究員兼草地飼料科長	畜産試験場草地飼料部草地飼料科長	菅原 正義
畜産試験場酪農肉牛部受精卵研究科長兼農業実践大宇校	“ 酪農肉牛部牛乳科長	小野寺千一
畜産試験場総務課長補佐	土木部監理課主査	青山 誠
“ 酪農肉牛部牛乳科長	古川家畜保健衛生所技術主査	佐藤 尚
“ 研究員	畜産課技術主査	沼辺 孝
“ “	仙台家畜保健衛生所技術主査	渡辺 正樹
“ “	瀬峰病院主査	佐々木典一
“ 主査	迫家畜保健衛生所技師	漆山 昌芳
“ 技師	畜産課畜産経営係長	氏家 清明
農業経済課農協指導係長	畜産試験場次長兼総務課長	佐々木政一
古川農業試験場次長兼総務課長	畜産課技術副参事兼技術補佐	近藤 康弘
大和農業改良普及所長	“ 技師	及川 克徳
角田農業改良普及所	大河原家畜保健衛生所技師	大沼 篤
中新田農業改良普及所	畜産試験場技師	大友 一博
石巻農業改良普及所	畜産課副参事兼課長補佐	庄司 正治
爾検定所長	石巻家畜保健衛生所技師	小堤 知行
仙北食肉衛生検査所技術主査	古川家畜保健衛生所技師	牧野 仁
仙南食肉衛生検査所	畜産課畜政係長	庄司 剛
県立病院監理課主幹兼経営企画係長	“ 主査	寺嶋日出子
地方労働委員会事務局総務課主査	仙台家畜保健衛生所	鈴木 静子
工事用水道事務所主事(事務補)	畜産試験場総務課長補佐	柿沼 洋
職員厚生課宿舎係長	“ 主査	梅田 寿枝
成瀬川総合開発建設事務所主査		

宮城県畜産農業協同組合連合会

4月1日付け

新	旧	氏名
部長待遇総務部付	事業部長	高橋 亮
事業部長兼業務課長	事業部次長兼業務課長	小室 盛
遠田支所長	登米支所長	白鳥 寿
登米支所長	遠田支所長	小池隆一郎
仙台支所長兼亘理出張所長	石巻支所長	堀内 政昭
石巻支所長	古川支所長兼玉造出張所長	千葉 勝也
課長待遇事業部付	柴田支所長	橋本 護
審査役柴田支所長	調査役仙台支所長心得	小笠原一郎
古川支所長心得兼玉造出張所長	柴田支所次長	山家 健蔵
指導課長補佐心得	主任技師	正須賀 正晃
調査役石巻支所次長	主任技師石巻支所次長心得	金田 俊一
調査役総務課長補佐心得兼経理課長補佐	主任主事総務経理課長補佐心得	西條 寛治
調査役登米支所次長	主任技師登米支所次長心得	菅原 勝則

宮城県経済農業協同組合連合会

退職(3月31日付け) 家畜診療所長

堀井 長門


4月1日付け

新	旧	氏名
畜産総合推進課長補佐兼家畜診療所長	畜産総合推進課長補佐	保科善一郎
酪農畜産課	新採用	畑山 和夫
嘱託	前家畜診療所長	堀井 長門

宮城県農業公社

退職(3月31日付け) 常務理事  
畜産部長

星 卓二  
庄子巳代治

<p>動物用 (牛専用) 医薬品</p> <h1>トルロミックス</h1> <p>特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合</p> <p>株式会社 トーシン</p> <p>古川市古川字上古川屋敷9番地の1 TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)</p>	<p>新ハエ幼虫成長抑制剤(IGR剤) 動物用医薬品</p> <h1>ラルバン®科飼研</h1> <p>ハエ幼虫の新殺虫剤—脱皮阻害タイプ キキメの長い、すぐれもの</p>  <p>JAグループ農協・経済連・全農</p>
--	---

調査役兼大郷牧場長

石尾 元成

4月1日付け

新	旧	氏名
常務理事兼畜産部長事務取扱 畜産部調査役(次長待遇) 調査役(部長待遇)兼白石牧場長 調査役(次長待遇)兼岩出山牧場長 大郷牧場長 畜産部基地建設課調査役(課長待遇) 大郷牧場次長 白石牧場主任主査 岩出山牧場主任主査 畜産部基地建設課技術主査 畜産部畜産振興課技術主査 事業部技術管理課技術主査 岩出山牧場技術主査 事業部技術管理課 畜産部基地建設課 畜産部畜産振興課 大郷牧場 白石牧場技師 岩出山牧場技師 畜産部基地建設課技師	前宮城県農業センター所長 前古川家畜保健衛生所次長 調査役(次長待遇)兼白石牧場長 岩出山牧場長 大郷牧場次長 畜産部基地建設課課長補佐 白石牧場主任主査 岩出山牧場技術主査 岩出山牧場技術主査 事業部技術管理課技術主査 畜産部畜産振興課技師 畜産部基地建設課技師 岩出山牧場技師 畜産部畜産振興課技師 農地管理部管理課技師 畜産部基地建設課技師 白石牧場技師 大郷牧場臨時技術員 岩出山牧場臨時職員 新採用	伊藤 隆康 鹿野田 功 高橋 文男 谷村 重義 大崎 慶也 今野 正一 佐藤 重利 松下 一良 高橋 久男 青柳 孝義 高橋 仁 樋渡 馨 上田 博雅 平田 利幸 佐々木 一真 高橋 淳 門脇 秀二 朝倉 利之 伊藤 英昭 板橋 武人

NOSA I 宮城

退職(3月19日付け)古川家畜診療所技師

築館 " "

退職(3月31日付け)名取家畜診療所長

古川 " 技術主査

築館 " "

迫 " "

築館 " 技師

石田 敏雄

生田 健太郎

高野 貞男

平野 哲夫

伊藤 和典

高橋 克仁

菊地 薫

4月1日付け

新	旧	氏名
家畜部兼家畜診療研修所長 家畜部診療課長 家畜部診療課主幹(課長待遇) 家畜部診療課主幹 家畜部家畜課長補佐兼家畜部診療課長補佐 家畜部診療課診療所係長 名取家畜診療所長(部長待遇) 大衡家畜診療所長 白石家畜診療所長心得 古川家畜診療所次長 古川 " " 築館 " " 白石 " 技師 古川 " " 築館 " " 一般職技師 獣医職 " " " " " " " " " "	白石家畜診療所長 古川家畜診療所次長 家畜部家畜課主幹(課長待遇) 家畜部家畜課主幹 家畜部家畜課長補佐  家畜部家畜課診療所係長 家畜部長 大衡家畜診療所長兼家畜診療研修所長 白石家畜診療所次長 築館 " " 古川 " 技術主査 築館 " " 迫 " 技師 白石 " " 名取 " " 家畜部家畜課(新採用) 新採用 " " " "	谷津 實 千葉 正寛 遊佐 公八 浅野 恵一 小岩 良一  佐野小夜子 小野 敏行 南館 君夫 佐藤 繁 武藤 昌文 高橋 一郎 熊谷 敏信 石川 則彦 木村 喜正 西條 慎一 早坂 貴 村山 勇雄 高橋 史昭 河野 充彦 横尾 圭一 鈴木 龍一

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449~50

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

